

教科	科目	使用教科書・副教材	単位数	対象学年・組
外国語	英語コミュニケーションⅠ	『ENRICH LEARNING English Communication I Revised』（東京書籍）	3 単位	第 1 学年 A～H 組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の 4 技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解する。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりする。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
			聞	読	話 や	話 発	書					
1 学 期	Unit 1 Why do people learn languages? ・受け身、助動詞、動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解できるようにする。 ・相手を励ます表現、方法を尋ねたり提案したりする表現、背景や展望を伝え合う表現を理解できるようにする。 ・自分の外国語学習の背景や展望などについて、経験を振り返ったり、意見を整理したりして、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続ける態度を育てる。	【題材内容】 人々が外国語を学ぶ理由と、それをいつ、どのように使うのかを理解する。 【言語材料】 受け身、助動詞、動名詞 【言語活動】 自分の英語の学習歴、現在の英語の使い方、将来の英語の使い方について伝え合う。 【言語の働き】 励ます、方法を尋ねる、提案する	○	○	○	○	○	・外国語を学ぶ意義を探究するために、香港や世界の言語について書かれた旅行サイトの記事や外国語学習サイトの記事から、数字を含む必要な情報を読み取り、理由などの概要や書き手の意図を捉えている。 ・自分の外国語学習の背景や展望などについて、経験を振り返ったり、意見を整理したりして、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けている。	○	○	○	9
	Unit 2 What do superstitions mean to you? ・助動詞の過去形、助動詞＋受け身、関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解できるようにする。 ・要点を述べたり、具体例を提示したり、感想を述べたりするための語彙や表現を理解できるようにする。 ・迷信について、要点や具体例、感想などを書いて伝える技能を身に付けられるようにする。	【題材内容】 さまざまな国や地域で信じられている迷信やその背景について理解する。 【言語材料】 助動詞の過去形、助動詞＋受け身、関係代名詞 【言語活動】 迷信を紹介し、それについて自分の価値観を述べる。 【言語の働き】 驚きを示す、興味や関心を示す、指示する。	○	○	○	○	○	・迷信や、迷信に関する自分の価値観を共有するために、迷信とその背景や役割について書かれた雑誌記事やソーシャルメディアへの投稿から必要な情報を読み取り、概要や要点を的確に捉えている。 ・興味のある迷信について、情報や考え、気持ちなどを整理して話して伝え合っている。	○	○	○	9
	中間考査			○			○		○	○		
	Unit 3 How can we promote sustainability? ・不定詞、分詞の形容詞用法、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できるようにする。 ・フォーマルな Eメールの文体に必要な語彙や表現を理解できるようにする。 ・環境保全に向けた取り組みについて、知りたい内容や考え、気持ちなどを書いて伝える技能を身に付けられるようにする。	【題材内容】 上勝町のゼロ・ウェイストの取り組みについて理解する。 【言語材料】 不定詞、分詞の形容詞用法、現在完了進行形 【言語活動】 人々がどのようにごみに関する問題に取り組んでいるかを尋ねる Eメールを書く。 【言語の働き】 過程を説明する。	○	○	○	○	○	・環境保全に向けた取り組みについて説明するために、実際に取り組みをすすめる地域の見所や特徴に関する旅行レビューサイトの記事や、団体への Eメールの質問と回答から必要な情報を読み取り、概要や要点を的確に捉えている。 ・各自がすでに取り組んでいることや将来的に取り組みたいことについて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。	○	○	○	11
	Unit 4 What can we learn from people in Hawaii? ・現在完了形の受け身、不定詞の受け身、不定詞の進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できるようにする。 ・ポイントを絞る、聞き手が納得する理由を説明するなど、スピーチに必要な技法を理解できるようにする。 ・絶滅の危機にある文化について、ポイントを絞ったり、理由を説明したりしながら、情報や考え、気持ちなどを話して伝える技能を身に付けられるようにする。	【題材内容】 ハワイ語やハワイ文化の歴史について理解する。 【言語材料】 現在完了形の受け身、不定詞の受け身、不定詞の進行形。 【言語活動】 未来に残したい日本や地域の文化を紹介する。 【言語の働き】 提案を求める、提案する。	○	○	○	○	○	・絶滅の危機にある文化について説明できるように、ハワイの言語や文化について書かれたリーフレットや雑誌記事から必要な情報を読み取り、歴史上の出来事の時系列や概要、要点を的確に捉えている。 ・身近な文化についてそれを知らない相手に紹介できるように、その文化の魅力や見どころについて、相手に合った提案をしながら、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。	○	○	○	10
	期末考査			○			○		○	○		

2 学 期	Unit 5 How can you engage your audience? ・過去完了形、SVOC [分詞]、関係副詞 how を用いた文の形・意味・用法を理解できるようにする。 ・体験談を伝えるスピーチに必要な技法を理解できるようにする。 ・自分の体験したことについて、出来事や感じたことなどを順序立てて話して伝える技能を身に付けられるようにする。	【題材内容】 体験したことを話したり聞いたりするための方法や助言を理解する。 【言語材料】 過去完了形、SVOC [分詞]、関係副詞 how 【言語活動】 どのようにすれば聞き手の興味を引き付けられるかを考え、短い体験談を発表する。 【言語の働き】 相づちを打つ	○	○	○	○	○	・聞き手の興味を引き付けて豊かなコミュニケーションができるように、体験談の語り方や聞き手の態度のあり方について書かれたウェブの記事から必要な情報を読み取り、方法や助言などの概要や要点を的確に捉えている。 ・聞き手の興味を引き付けて豊かなコミュニケーションができるように、体験したことについて、修辞疑問（回答を求めない質問）を用いたり相手の話に反応したりして、出来事や感じたことなどを話して伝え合っている。	○	○	○	11
	Unit 6 What are the qualities of a good leader? ・分詞構文、関係副詞を用いた文の形・意味・用法を理解できるようにする。 ・人物の経歴や業績を伝えるプレゼンテーションに必要な技法を理解できるようにする。 ・人物の経歴や業績について、情報や考えなどを話して伝える技能を身に付けられるようにする。	【題材内容】 優れたリーダーシップを持つ人物の経歴を知る。 【言語材料】 分詞構文、関係副詞 【言語活動】 優れたリーダーが備えている資質を説明する。 【言語の働き】 返答する、相づちを打つ	○	○	○	○	○	・優れたリーダーが備えている資質について説明するために、社会的に影響を与えた人物の経歴や業績について、客観的な視点で書かれたオンライン百科事典や伝記的な記事から必要な情報を読み取り、概要や要点を的確に捉えている。 ・優れたリーダーが備えている資質について探求するために、特定の人物について、返答したり、相づちを打ったりしながら、自分の考えを話して伝え合っている。	○	○	○	10
	中間考査			○			○		○	○		
	Unit 7 What is your ideal lifestyle? ・原形不定詞、仮定法過去完了、過去完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解できるようにする。 ・エッセイにおけるパラグラフの構成や特徴を理解できるようにする。 ・ライフスタイルや住む場所について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに、論理性に注意して書いて伝える技能を身に付けられるようにする。	【題材内容】 さまざまなライフスタイルや住む場所を選ぶ理由と、それぞれの長所・短所を理解する。 【言語材料】 原形不定詞、仮定法過去完了、過去完了進行形 【言語活動】 自分の理想のライフスタイルについて考え、理由とともに書いて伝える。 【言語の働き】 反論する、同意する	○	○	○	○	○	・理想のライフスタイルについて説明するために、さまざまなライフスタイルを選んだ人物たちの心情の変化やそれぞれのライフスタイルの長所や短所について書かれた新聞記事やオンライン上の雑誌記事から必要な情報を読み取り、概要や要点を的確に捉えている。 ・住みたい場所やその理由について、同意したり相手に配慮しつつ反論したりしながら、考えや気持ちなどを話して伝え合っている。	○	○	○	11
	Unit8 Why do we explore the universe? ・関係代名詞 what、関係代名詞の非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解できるようにする。 ・予想を述べる表現、意見を求める表現を理解できるようにする。 ・賛成や反対の意見、メリットやデメリットを伝え合うための表現を理解できるようにする。 ・宇宙開発について、賛成や反対の意見を理由とともに話して伝え合う技能を身に付けられるようにする。	【題材内容】 各国が宇宙開発を続ける理由と、そのメリット・デメリットを理解する。 【言語材料】 関係代名詞 what、関係代名詞の非制限用法 【言語活動】 宇宙開発の是非について意見を伝え合う。 【言語の働き】 予想する、意見を求める	○	○	○	○	○	・宇宙開発の是非について意見を出し合うために、賛成や反対の意見とその理由、宇宙開発のメリットやデメリットについて書かれたブログや新聞記事から必要な情報を読み取り、読み手を説得するための修辞技法を含む書き手の意図や、概要や要点を的確に捉えている。 ・宇宙開発肯定派・否定派に分かれたトライアングルディベートの形で、相手の発言を要約したり、補足したり、反論したりしながら、情報や考えを理由とともに、論理的に話して伝え合っている。	○	○	○	10
	期末考査			○			○		○	○		
3 学 期	Active Reading 1 Ocean Plastic ・既習事項を用いた文の形・意味を理解できるようにする。 ・科学技術に関する語彙や表現、説明文の形式や特徴を理解できるようにする。 ・海洋プラスチック問題について書かれた、専門的な記述を含む説明文を読み取る技能を身に付けられるようにする。	【題材内容】 海洋プラスチック汚染についての説明文 【言語活動】 科学技術に関する専門的な記述を読んで、筆者の主張を読み取る。	○	○	○	○	○	・環境問題の解決につながる科学技術について意見交換できるように、海洋プラスチック問題の解決のための発明・技術に関する説明文から必要な情報を読み取り、段落ごとの概要や要点、筆者の主張を的確に捉えている。	○	○	○	12

	Active Reading 2 The Gift ・既習事項を用いた文の形・意味を理解できるようにする。 ・物語の書かれた時代背景や文化・習慣に関する語彙や表現を理解できるようにする。 ・物語の構成や特徴を理解できるようにする。 ・空想の未来の宇宙旅行での出来事を描いた物語文 (SF 小説) を読み取る技能を身に付けられるようにする。	【題材内容】 レイ・ブラッドベリによる SF 短編 【言語活動】 物語の書かれた時代背景を踏まえて読む、作者のメッセージを読み取る						・物語が書かれた時代背景や作者のメッセージを読み解くために、未来の宇宙旅行での出来事を描いた物語文から必要な情報を読み取り、段落ごとの概要や要点を的確に捉えている。				12
	学年末考査											
												合計
												105

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
定期考査を中心に、発表、提出物、小テスト等	定期考査を中心に、発表、提出物、小テスト等	授業への取り組み、発表への取り組み、提出物、小テスト等

教科	科目	使用教科書・副教材	単位数	対象学年・組
外国語	論理・表現 I	『Revised Vision Quest English Logic and Expression I Advanced』（啓林館）	2 単位	第 1 学年 A～H 組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語を用いた言語活動を通して、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能、特に、論理の構成や展開、情報や考えを効果的に伝える表現を養う。	日常的・社会的な話題について、情報を整理しながら考えなどを形成し、目的や場面、状況などに応じて、要点や意図などを明確にしながら伝え合う力を養う。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを主体的、自律的に話したり書いたりして表現する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
			聞	読	話 や	話 発	書					
1 学 期	Vision Quest Lesson1 Welcome to our class! ・学校生活や好きな娯楽について話し合ったり、書いて伝えたりできるようにする。 ・多様な表現を用い、原因・理由を述べることができるようにする。	・初対面の相手に自分の学校生活や好きな娯楽を紹介する。 ・さまざまな疑問文や命令文、感嘆文と応答。単文、重文、複文の構成を理解し、まとまりのある文を用いて表現する。	○	○	○	○	○	・学校生活や好きな娯楽について、使用する語句や文などにおいて事前の準備をすれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合ったり、論理性に注意して書くことができる。	○	○	○	4
	Vision Quest Lesson 2 I attended the class recreation last week. ・新しいクラスレクリエーションの提案や、これまでに体験した学校行事について話し合ったり、書いて伝えたりできるようにする。 ・多様な表現を用い、自分の意見を述べたり、相手の意見に対して賛成・反対の意思を示したりすることができるようにする。	・クラスレクリエーションの内容を提案したり、感想を伝える表現。 ・5つの文型と<There +be動詞+主語>の構文を理解し、文を組み立てる。注意すべき自動詞と他動詞を使い分ける。	○	○	○	○	○	・クラスレクリエーションの提案や学校行事の感想について、使用する語句や文などにおいて事前の準備をすれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合ったり、論理性に注意して書くことができる。	○	○	○	6
	中間考査		○	○			○		○	○		
	Vision Quest Lesson 3 I'm going to go back to my hometown. ・先週末の出来事や夏休みの予定について話し合ったり、書いて伝えたりできるようにする。 ・多様な表現を用い、計画したり、予定していることを伝え合うことができるようにする。	・先週末の出来事や夏休みの計画について伝える表現。 ・基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて伝える。	○	○	○	○	○	・先週末の出来事や夏休みの予定について、使用する語句や文などにおいて事前の準備をすれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合ったり、論理性に注意して書くことができる。	○	○	○	4
	Vision Quest Lesson 4 I have been playing the guitar for four years. ・ワークショップや合宿への申し込みや、自分や他人のコレクションについて話し合ったり、書いて伝えたりできるようにする。 ・多様な表現を用い、今までの経験や初めての経験をたずねたり、伝えたりすることができるようにする。	・ワークショップや合宿に申し込んだり、自分や他人のコレクションについて伝えたりする表現。 ・現在・過去・未来の完了形の概念を理解し、それぞれの用法を区別する。また、共に使える語句を使って、適切に文を作ったり、表現したりする。	○	○	○	○	○	・スポーツなどの経験や自分か他人のコレクションについて、使用する語句や文などにおいて事前の準備をすれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合ったり、論理性に注意して書くことができる。	○	○	○	6
	Vision Quest Lesson 5 I want to study abroad after high school. ・今困っていることや興味のある職業、後悔していることについて話し合ったり、書いて伝えたりできるようにする。 ・多様な表現を用い、会話の相手に許可を求めたり、依頼したりすることができるようにする。	・今困っていることや興味のある職業、後悔していることについて伝える表現。 ・さまざまな助動詞の意味と用法を理解し、適切に使い分けて表現する。	○	○	○	○	○	・悩んでいること、興味のある職業、後悔していることについて、使用する語句や文などにおいて事前の準備をすれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合ったり、論理性に注意して書くことができる。	○	○	○	6
	期末考査		○	○			○		○	○		
2 学 期	Vision Quest Lesson 6 I went to a new cafe today. ・自分の好きな／作った／買ったものや、うれしかったり驚いたりしたことについて話し合ったり、書いて伝えることができるようにする。 ・多様な表現を用い、喜びや驚きの感情を表すことができるようにする。	・自分の好きな／作った／買ったものや、うれしかったり驚いたりしたことについて伝える表現。 ・受動態を用いたさまざまな文の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝える。	○	○	○	○	○	・好きな／作った／買ったものやうれしかったり驚いたりしたことについて、使用する語句や文などにおいて事前の準備をすれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合ったり、論理性に注意して書くことができる。	○	○	○	4

	Vision Quest Lesson 7 Thank you for your support during my stay. - 感謝を伝えたい相手や自分の学校の特徴的な／良い点，海外の生徒の興味を引く活動について話し合ったり書いて伝えたりすることができるようにする。 - 多様な表現を用い，感謝・謝罪する際に頻繁に使用される表現を学び，会話の相手に感情を適切に伝えることができるようにする。	- 感謝を伝えたり，自分の学校の特徴的な／良い点を述べたり，海外の生徒の興味を引く活動を提案したりする表現。 - さまざまな不定詞の用法を学び，詳細な情報を伝える。	○	○	○	○	○	感謝を伝えたい人，自分の学校の特徴的な／良いところ，海外から来る生徒の興味を引く活動について，使用する語句や文などにおいて事前の準備をすれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを，話し合ったり，論理性に注意して書くことができる。	○	○	○	6
	中間考査		○	○			○		○	○		
	Vision Quest Lesson 8 What do you do to stay healthy? - 健康のためにやっている習慣や，友人を誘いたいスポーツの試合やイベントについて話し合ったり書いて伝えたりすることができるようにする。 - 相手を誘ったり，申し出たりする表現や，相手に提案する表現を学び，適切に意図を伝えることができるようにする。	- 健康のためにやっている習慣や，スポーツの試合やイベントに相手を誘うときの表現。 - 動名詞のさまざまな用法を学び，動名詞句を使用した多様な文で伝える。	○	○	○	○	○	健康のためにしていることや人を誘いたいスポーツの試合やイベントについて，使用する語句や文などにおいて事前の準備をすれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを，話し合ったり，論理性に注意して書くことができる。	○	○	○	6
	Vision Quest Lesson 9 I found a funny video online. - おもしろいオンライン動画やインターネットの負の側面について話し合ったり書いて伝えたりすることができるようにする。 - 人や物事について，判断の根拠を示す表現を使用して論理的に伝えることができるようにする。	- おもしろいオンライン動画やインターネットの負の側面について伝える表現。 - 名詞を修飾する分詞の用法や補語になる用法，また分詞構文や付帯状況を表す分詞を用いて表現する。	○	○	○	○	○	おもしろいオンライン動画やインターネットの負の側面について，使用する語句や文などにおいて事前の準備をすれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを，話し合ったり，論理性に注意して書くことができる。	○	○	○	6
	Vision Quest Lesson 10 It is a city where you can enjoy a variety of dishes. - 外国人観光客が知っておくと役立つ日本語の表現や日本の文化，海外旅行中に気を付けるべきこと，日本のおすすめの観光スポットについて話し合ったり書いて伝えたりすることができるようにする。 - 多様な表現を用い，物事の意味を説明したり，言い換えをしたりすることができるようにする。	- 外国人観光客が知っておくと役立つ日本語の表現や日本の文化について紹介したり，海外旅行中に気を付けるべきことや日本のおすすめの観光スポットについて伝えたりする表現。 - 関係詞を用いて複文を作り，語句を限定したり補足説明を加えたりする。また，複合関係詞を用いて譲歩の意味を表す。	○	○	○	○	○	訪日観光客にとって役立つ日本語や日本の文化の情報，海外旅行中に意識すべきこと，訪日観光客におすすめの日本の観光地について，使用する語句や文などにおいて事前の準備をすれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを，話し合ったり，論理性に注意して書くことができる。	○	○	○	6
	期末考査		○	○			○		○	○		
3 学 期	Vision Quest Lesson 11 I believe that poverty is the biggest problem in the world. - 日本と海外の都市の比較や国際問題について話し合ったり書いて伝えることができるようにする。 - 多様な表現を用い，グラフや表を比較したり，内容について分析したりすることができるようにする。	- 日本と海外の都市を比較したり，国際問題について伝えたりする表現。 - 比較に関するさまざまな用法と表現を理解し，物事の状態をわかりやすく説明する。	○	○	○	○	○	日本の都市と海外の都市の比較や国際問題について，使用する語句や文などにおいて事前の準備をすれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを，話し合ったり，論理性に注意して書くことができる。	○	○	○	8
	Vision Quest Lesson 12 Climate change has been causing serious problems. - ファストファッションの問題点と解決策や環境問題について話し合ったり書いて伝えることができるようにする。 - 多様な表現を用い，相手や自分の立場に応じた適切な助言をしたり，自分の意志や要望を伝えることができるようにする。	- ファストファッションの問題点と解決策や環境問題について伝える表現。 - 仮定法を用いて，事実と違うことや実際には起こりえないことを述べる。	○	○	○	○	○	ファストファッションの問題点と解決策や環境問題について，使用する語句や文などにおいて事前の準備をすれば，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを，話し合ったり，論理性に注意して書くことができる。	○	○	○	8
	学年末考査		○	○			○		○	○		
												合計
												70

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
定期考査を中心に、発表、提出物、小テスト等	定期考査を中心に、発表、提出物、小テスト等	授業への取り組み、発表への取り組み、提出物、小テスト等

教科	科目	使用教科書・副教材	単位数	対象学年・組
外国語	英語コミュニケーションⅡ	『ELEMENT English Communication Ⅱ』（啓林館）	3 単位	第 2 学年 A～H 組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の 4 技能について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して，言語の働きや役割などを理解する。	場所・目的・状況などに応じて，日常的・社会的な話題について，情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりする。	他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり，読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
			聞	読	話 〔 <u>や</u> 〕	話 〔 <u>発</u> 〕	書					
1 学 期	ELEMENT Lesson 1 Culture around the World ELEMENT Lesson 2 Power of Words ・教科書の英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・異文化理解 ・スピーチ、生き方 ・形式目的語の it ・対応する能動態を持たない受動文 ・複合関係代名詞 ・be + to 不定詞	○	○	○	○	○	・自国の位置がどこであるか、という素朴な疑問から、地図の見方、世界の中における自国や自文化の位置づけについて理解し、考えを深めることができる。 ・相違性を意識しながら、文化の世界地図が示すことを考察し、意見を交換することができる。 ・スティーブ・ジョブズの名スピーチを学び、彼の生い立ちや背景知識も得ながら、人生について考えを深めることができる。 ・生き方の多様性について考え、意見を交換することができる。	○	○	○	9
	Cutting Edge Chapter 1 教育と疾病 Cutting Edge Chapter 2 最後のメッセージ Cutting Edge Chapter 3 目の大きさと脳の関係 ・入試レベルの英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・社会問題、物語、文化人類学 ・倒置、同格表現、分詞構文、意味上の主語、関係代名詞の省略、代名詞 one、	○	○	○	○	○	・入試レベルの英文を読み、内容を把握することができる。 ・読解を通して学んだ知識、考えを活かし、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、課題に対して議論したりすることができる。	○	○	○	9
	中間考査			○			○		○	○		
	ELEMENT Lesson 3 Preconception ELEMENT Lesson 4 The Century of War ・教科書の英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・ジェンダー、ファッション ・平和、人権 ・さまざまな分詞構文、完了形の受動態	○	○	○	○	○	・「ピンク色は、女の子の色？」というような、身近に潜む先入観について理解し、考えを深めることができる。 ・戦争の時代について調べ、意見を交換することができる。 ・	○	○	○	11
	Cutting Edge Chapter 4 液体燃料問題 Cutting Edge Chapter 5 貴重な教訓 Cutting Edge Chapter 6 コーク VS ペアジ Cutting Edge Chapter 7 動物の社会的距離 ・入試レベルの英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・エネルギー、栄養、物語、宣伝効果、社会的距離 ・習慣を表す現在形、コロン、分詞構文、無生物主語、受動態の分詞構文、with OC、関係代名詞の非制限用法、省略、話法、代名詞 one、同格の that、関係代名詞 what、現在完了進行形、主語 + be 動詞の省略、関係副詞の that	○	○	○	○	○	・入試レベルの英文を読み、内容を把握することができる。 ・読解を通して学んだ知識、考えを活かし、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、課題に対して議論したりすることができる。	○	○	○	10
	期末考査			○			○		○	○		
2 学 期	ELEMENT Lesson 5 How Our Minds Work ELEMENT Lesson 6 IT and Life ・教科書の英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・心理、経済 ・現代社会、家族愛 ・it を用いた強調構文、助動詞 + <完了形>、倒置、関係副詞の非限定用法	○	○	○	○	○	・行動経済学につながる初歩的な文章を理解し、考えを深めることができる。 ・IT が現代社会において果たす役割や功罪について調べ、意見を交換することができる。 ・人間の行動に影響を及ぼす事柄について理解し、考えを深めることができる。	○	○	○	11

	Cutting Edge Chapter 8 睡眠の役割 Cutting Edge Chapter 9 口論と真実 Cutting Edge Chapter 10 オーガニック Cutting Edge Chapter 11 自動運転車 ・入試レベルの英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・生理学、コミュニケーション、有機農業、自動化 ・関係副詞 when、比較 as...as～、修辞疑問文、as if、同格の that、the 比較、the 比較、状態動詞の進行形、同格の of、仮定法の without、simply...not、使役動詞 make、come to do、sit C、不定詞の完了形	○	○	○	○	○	・入試レベルの英文を読み、内容を把握することができる。 ・読解を通して学んだ知識、考えを活かし、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、課題に対して議論したりすることができる。	○	○	○	10
	中間考査			○			○		○	○		
	ELEMENT Lesson 7 Advances in Medical Technology ELEMENT Lesson 8 A Tiny Step, a Big Impact ・教科書の英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・医学、科学技術 ・歴史、科学技術 ・世紀の大発見 iPS 細胞について ・ガラスからみる歴史、発明の連鎖が作る世界について ・that 節をとる名詞、未来進行形、what を用いた強調、複合関係副詞	○	○	○	○	○	・iPS 細胞の発見について研究や背景について理解し、考えを深めることができる。 ・ガラスという身近な素材に着目し、科学技術が生活をどのように支えているのかについて調べ、意見を交換することができる。	○	○	○	11
	Cutting Edge Chapter 12 AI と仕事 Cutting Edge Chapter 13 行動の背景 Cutting Edge Chapter 14 災害と温暖化 Cutting Edge Chapter 15 ビッグデータ ・入試レベルの英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・AI、動物行動学、気候変動、統計 ・名詞構文、分詞構文、主語に条件が含まれる仮定法過去、前置詞＋関係代名詞、間接疑問、過去分詞の後置修飾、省略、助動詞＋完了形、主語になる動名詞	○	○	○	○	○	・入試レベルの英文を読み、内容を把握することができる。 ・読解を通して学んだ知識、考えを活かし、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、課題に対して議論したりすることができる。	○	○	○	
	期末考査			○			○		○	○		10
3 学 期	ELEMENT FR1 The True Story of the Bear behind Winnie-the-Pooh ELEMENT FR2 Mis Moore Thought Otherwise ・教科書の英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・名作『くまのプーさん』の誕生秘話 ・子ども図書館を開設したムーア氏の奮闘	○	○	○	○	○	・物語文を読んで登場人物の心情や行動について理解することができる。 ・児童図書普及の理念をよく考え、読書について身近な取り組みを紹介し、理解することができる。	○	○	○	12
	Cutting Edge Chapter 16 『事実』なるもの Cutting Edge Chapter 17 ハビタブルゾーン Cutting Edge Chapter 18 確証バイアス ・入試レベルの英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・非言語的コミュニケーション、宇宙、バイアス ・仮定法過去、進行形の受動態、関係代名詞 what、推量の would、倍数表現、名詞節を導く whether、強調の助動詞 do、形式主語、間接疑問	○	○	○	○	○	・入試レベルの英文を読み、内容を把握することができる。 ・読解を通して学んだ知識、考えを活かし、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、課題に対して議論したりすることができる。	○	○	○	
	学年末考査			○			○		○	○		12
												合計
												105

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
定期考査を中心に、発表、提出物、小テスト等	定期考査を中心に、発表、提出物、小テスト等	授業への取り組み、発表への取り組み、提出物、小テスト等

教科	科目	使用教科書・副教材	単位数	対象学年・組
外国語	論理・表現Ⅱ	『CROWN Logic and Expression Ⅱ』（三省堂）	2 単位	第 2 学年 A～H 組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語を用いた言語活動を通して、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能、特に、論理の構成や展開、情報や考えを効果的に伝える表現を養う。	日常的・社会的な話題について、情報を整理しながら考えなどを形成し、目的や場面、状況などに応じて、要点や意図などを明確にしながら伝え合う力を養う。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを主体的、自律的に話したり書いたりして表現する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
			聞	読	話 （ や ）	話 発	書					
1 学 期	Crown Logic and ExpressionⅡ Lesson1 Dear Mayor, Lesson2 Manga Find Ever-increasing Global Fans	・人生・生き方／ディスカッション、手紙を書く ・漫画・芸術／ディスカッション、エッセイを書く	○	○	○	○	○	・「希望・願望」「依頼・要請」「許可」を表す表現形式と機能を理解している。 ・星野さんの人生についてのディスカッションを聞き、それに対する自分の意見や考えをメモし、それをグループ内で順番に発表し合う。 ・ディスカッションや級友達の意見を踏まえて、サンプルの英文を参考にしながら、日本のマンガやアニメが世界で人気のある理由についての自分の意見をエッセイにまとめる。	○	○	○	6
	新・英語の構文 150 第 1 回 Lesson 1～5 第 2 回 Lesson 6～12 第 3 回 Lesson 13～17 第 4 回 Lesson 18～22 ・正確に和文を英訳する。	・It を主語とする構文、まとまりで処理すべき動詞・助動詞を含む表現、不定詞(1)(2)	○	○	○	○	○	・定型表現等を用いて、正確に和文を英訳することができる。	○	○	○	6
	中間考査			○			○		○	○		
	Crown Logic and ExpressionⅡ Lesson3 Japanese Baths Lesson4 Innovators of the World	・日本文化・異文化理解／ディベート、エッセイを書く ・人物・科学／ディスカッション、レポートを書く	○	○	○	○	○	・「忠告・義務」「必要」「提案・勧誘」を表す表現形式と機能を理解している。 ・「風呂はシャワーより優れている」という論題に対する肯定と否定の立論を聞き、それぞれがどのような考えに基づいているかを理解する。 ・世の中に影響を与えている若い人物を取り上げてディスカッションし、それを踏まえて、その人物を紹介するレポートを書く。	○	○	○	6
	新・英語の構文 150 第 5 回 Lesson 23～29 第 6 回 Lesson 30～33 第 7 回 Lesson 34～38 第 8 回 Lesson 39～45 ・正確に和文を英訳する。	・動名詞、分詞(1)(2)、副詞節(1)	○	○	○	○	○	・定型表現等を用いて、正確に和文を英訳することができる。	○	○	○	8
	期末考査			○			○		○	○		
2 学 期	Crown Logic and ExpressionⅡ Lesson5 Don't Throw Us Away! Lesson6 Urban Development	・社会問題／ディスカッション、エッセイを書く ・都市計画／ディスカッション、エッセイを書く	○	○	○	○	○	・「例証」「分類・列挙」を表す表現形式と機能を理解している。 ・フードロス問題への取り組みについてのディスカッションを聞き、それぞれの話者がどのような意見を持っているかを理解する。 ・商業地域と住宅は分かれているべきか否かという問題についてディスカッションし、それを踏まえて、自分の考えをエッセイにまとめる。	○	○	○	8
	新・英語の構文 150 第 9 回 Lesson 46～54 第 10 回 Lesson 55～58 第 11 回 Lesson 59～63 ・正確に和文を英訳する。	・副詞節(2)、名詞節、関係詞節	○	○	○	○	○	・定型表現等を用いて、正確に和文を英訳することができる。	○	○	○	6

	中間考査			○			○		○	○		
	Crown Logic and Expression II Lesson7 Food and Culture in the World Lesson8 The Potential for E-Sports	・料理・食文化／ディスカッション、エッセイを書く ・スポーツ／プレゼンテーション、ディスカッション、エッセイを書く	○	○	○	○	○	・「方法・様態」「数量」を表す表現形式と機能を理解している。 ・異なる食文化のマナーや習慣についてのディスカッションを聞き、それぞれの話者がどのような考えを持っているかを理解する。 ・子供がゲームをする時間を制限すべきか否かという問題についてディスカッションし、それを踏まえて、自分の考えをエッセイにまとめる。	○	○	○	6
	新・英語の構文 150 第 12 回 Lesson 64～71 第 13 回 Lesson 72～77 第 14 回 Lesson 78～83 第 15 回 Lesson 84～90 ・正確に和文を英訳する。	・比較、否定、仮定法、強調・倒置	○	○	○	○	○	・定型表現等を用いて、正確に和文を英訳することができる。	○	○	○	8
	期末考査			○			○		○	○		
3 学 期	Crown Logic and Expression II Lesson9 All Gone? Lesson10 The “New Normal” at School	・生態系・環境問題／ディスカッション、エッセイを書く ・教育／スピーチ、ディスカッション	○	○	○	○	○	・「原因・理由」「目的」「結果」を表す表現形式と機能を理解している。 ・絶滅危惧種を守るためにできることについてのディスカッションを聞き、それぞれの話者がどのような考えを持っているかを理解する。 ・文化祭を有観客で行うか、それとも無観客で配信するかについてディスカッションし、それを踏まえて、自分の考えをまとめ、文化祭の企画書を書く。	○	○	○	8
	新・英語の構文 150 第 16 回 Lesson 91～96 第 17 回 Lesson 96～99 第 18 回 Lesson 100～104 ・正確に和文を英訳する。	・挿入・省略・同格、対比・列挙・例示、名詞構文・無生物主語・修飾語	○	○	○	○	○	・定型表現等を用いて、正確に和文を英訳することができる。	○	○	○	8
	学年末考査			○			○		○	○		
												合計
												70

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
定期考査を中心に、発表、提出物、小テスト等	定期考査を中心に、発表、提出物、小テスト等	授業への取り組み、発表への取り組み、提出物、小テスト等

教科	科目	使用教科書・副教材	単位数	対象学年・組
外国語	英語コミュニケーションⅢ	『ELEMENT English CommunicationⅢ』（啓林館）	4 単位	第 3 学年 A～H 組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の 4 技能について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解する。	場所・目的・状況などに応じて、日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語での確に理解したり適切に伝え合ったりする。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり、読んだりしたことを活用して自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 や	話 発	書					
1 学 期	ELEMENT Lesson 1 Energy ELEMENT Lesson 2 Environment and Life ・教科書の英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・交通機関ごとのエネルギー消費量の違いについての論説文を読む。 ・バイオ燃料のメリットとデメリットについての論説文を読む。 ・その内容についてリテリングを行う。	○	○	○	○	○	・社会的な事柄について、比較的平易な英語で書かれたやや短い論説文を読んで、グラフなどを参考にしながら、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理したりすることができる。 ・本文に関連する写真やキーワードなどを活用して、話の要点を伝えることができる。また、それに対する感想や考えを表現することができる。	○	○	○	8
	Cutting Edge Black Chapter 1 走力と筋肉量 Cutting Edge Black Chapter 2 言語の消失 Cutting Edge Black Chapter 3 サリーを 1 か月 Cutting Edge Black Chapter 4 鳥の能力 ・入試レベルの英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・動物、言語、エッセイ ・付帯状況、同格節、倒置、関係副詞の非制限用法	○	○	○	○	○	・入試レベルの英文を読み、内容を把握することができる。 ・読解を通して学んだ知識、考えを活かし、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、課題に対して議論したりすることができる。	○	○	○	18
	中間考査		○	○			○		○	○		
	ELEMENT Lesson 3 Health and Life ELEMENT Lesson 4 Humans and Technology ・教科書の英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・睡眠時間の不足によって引き起こされる健康被害についてのダブルパッセージを読む。 ・デジタル化によって変わる人間の記憶力についてのダブルパッセージを読む。 ・その内容についてリテリングを行う。	○	○	○	○	○	・社会的な事柄について、比較的平易な英語で書かれたとても短い 2 つの論説文を読み比べて、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断したりすることができる。 ・本文に関連する写真やキーワードなどを活用して、話の要点を伝えることができる。また、それに対する感想や考えを表現することができる。	○	○	○	8
	Cutting Edge Black Chapter 5 教育の機会 Cutting Edge Black Chapter 6 産業革命 Cutting Edge Black Chapter 7 監視資本主義 Cutting Edge Black Chapter 8 利他主義と利己主義 ・入試レベルの英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・教育、歴史、時事 IT、社会、心理 ・比較構文、省略、分詞構文、強調構文、倍数表現、受動態、関係副詞の非制限用法、前置詞＋関係代名詞の非制限用法	○	○	○	○	○	・入試レベルの英文を読み、内容を把握することができる。 ・読解を通して学んだ知識、考えを活かし、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、課題に対して議論したりすることができる。	○	○	○	18
	期末考査		○	○			○		○	○		
2 学 期	ELEMENT Lesson 5 Diversity ELEMENT Lesson 6 Education ELEMENT Lesson 7 Miracles of Nature ・教科書の英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・多様性がどのように絵文字に反映されてきたかについての説明文を読む。 ・問題の創造的な解決法についてのエッセイを読む。 ・鳥の卵の形が異なる理由についての説明文を読む。 ・その内容についてリテリングを行う。	○	○	○	○	○	・社会的で科学的な事柄について書かれた論説文や身近な事柄について書かれたやや長いエッセイを読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、情報を事実と意見に整理したり、書き手の主張や目的を判断したりすることができる。 ・本文に関連する写真やキーワードなどを活用して、話の要点を詳しく伝えることができる。また、それに対する感想や考えを表現することができる。	○	○	○	8
	Cutting Edge Black Chapter 9 科学と物語 Cutting Edge Black Chapter 10 社会的評価 Cutting Edge Black Chapter 11 認知能力 ・入試レベルの英文の内容を理解する。	・科学、社会、心理 ・関係代名詞、省略、同格節、分詞構文、分詞、倒置	○	○	○	○	○	・入試レベルの英文を読み、内容を把握することができる。 ・読解を通して学んだ知識、考えを活かし、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、課題に対して議論したりすることができる。	○	○	○	20

	る。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。												
	中間考査		○	○				○		○	○		
	ELEMENT Lesson 8 Sustainable Development ELEMENT Lesson 9 Art and Heart ELEMENT Lesson 10 Human Relationships ・教科書の英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・技術革新による食品業界の変化についての論説文を読む。 ・有名な絵画にまつわる物語文を読む。 ・ある教師と生徒たちの忘れがたい思い出についての物語文を読む。 ・その内容についてリテリングを行う。	○	○	○	○	○		・科学的な事柄について書かれたやや長い説明文や身近な事柄について書かれたやや長い物語文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したり、書き手の主張や目的を判断したり、行間を読んだりすることができる。 ・本文に関連する写真やキーワードなどを活用して、話の要点を詳しく伝えることができる。また、それに対する感想や考えを表現することができる。	○	○	○	8
	Cutting Edge Black Chapter 12 人間の食性 Cutting Edge Black Chapter 13 U 字曲線 Cutting Edge Black Chapter 14 西洋から見た砂漠化 ・入試レベルの英文の内容を理解する。 ・英文の内容を基にして、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、議論したりする。	・食事、歴史、時事、社会、環境 ・分詞構文、強調、倒置、無生物主語、付帯状況	○	○	○	○	○		・入試レベルの英文を読み、内容を把握することができる。 ・読解を通して学んだ知識、考えを活かし、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、課題に対して議論したりすることができる。	○	○	○	20
	期末考査		○	○				○		○	○		
3 学 期	総合演習	総合演習	○	○	○	○	○		・身近な事柄について書かれた長い物語文、科学的な事柄について書かれたやや長い新聞記事、社会的な事柄について書かれた長い説明文を読んで、構成を把握したり、概要や詳細を理解したりすることができる。	○	○	○	8
	総合演習	総合演習	○	○	○	○	○		・入試レベルの英文を読み、内容を把握することができる。 ・読解を通して学んだ知識、考えを活かし、与えられた課題に対して自分の意見を伝えたり、課題に対して議論したりすることができる。	○	○	○	24
	学年末考査		○	○				○		○	○		
													合計
													140

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
定期考査を中心に、発表、提出物、小テスト等	定期考査を中心に、発表、提出物、小テスト等	授業への取り組み、発表への取り組み、提出物、小テスト等

教科	科目	使用教科書・副教材	単位数	対象学年・組
外国語	論理・表現Ⅲ	『Genius English Logic and Expression Ⅲ』（大修館書店）	2 単位	第 3 学年 A～H 組

科目の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各種の言語活動を通して、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を養う。特に、論理の構成や展開、情報や考えを効果的に伝える表現を養う。	日常的話題や社会問題について、情報を整理しながら考えを形成する。それぞれの目的や場面、状況などに応じ、要点や意図を明確にしながら、伝え合う力を養う。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら外国語を運用する。自分の意見や考えを主体的かつ自律的に話したり書いたりして表現する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配当 時数
			聞	読	話 （ <u>言</u> ）	話 （ <u>発</u> ）	書					
1 学 期	Genius Logic and ExpressionⅢ Unit 1 Should People Have Pets?	・ペットを飼うメリット・デメリット	○	○	○	○	○	・子どもがペットを飼うことの是非について、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝えることができる。 ・紙の書籍と電子書籍を比較するエッセイを、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝えることができる。	○	○	○	6
	Unit 2 Printed Books or E-Books?	・紙の書籍と電子書籍の良い点・悪い点										
	エスト上級英作文 Ch. 1 主語を決める（1） Ch. 2 主語を決める（2） Ch. 3 主語を決める（3） Ch. 4 数量・増減の表し方	・一般の人を主語にした英文 ・日本語では主語が省略されている場合の英訳 ・日本語の主語とは別のものを主語にして英文を書く ・「2 倍」「3 分の 1」「月単位」「ますます高い確率」など数量や増減についての表現	○	○	○	○	○	・2 年次に覚えた基本例文を使いながら、英訳することができる。 ・定型表現等を用いて、正確に和文を英訳することができる。	○	○	○	6
	中間考査			○			○		○	○		1
	Genius Logic and ExpressionⅢ Unit 3 Which Media Provides the Most Trustworthy Information?	・ソーシャルメディアの良い点・悪い点	○	○	○	○	○	・最も信頼できるメディアは何かについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参照しながら、論理の展開や構成を工夫して話し合い、論理的に伝えている。	○	○	○	6
	Unit 4 Which Language Is the Best to Learn?	・外国語学習のメリット・デメリット						・どの言語を学ぶべきかについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝えることができる。				
	エスト上級英作文 Ch. 5 動詞に関する注意事項 Ch. 6 関係詞の用法 Ch. 7 比較の表現（1） Ch. 8 比較の表現（2）	・動詞と、主語や目的ごとの関係 ・動詞の時制 ・関係詞の注意事項、先行詞 ・引用符の用法 ・比較の定型表現 ・比較の慣用表現	○	○	○	○	○	・2 年次に覚えた基本例文を使いながら、英訳することができる。 ・定型表現等を用いて、正確に和文を英訳することができる。	○	○	○	6
	期末考査			○			○		○	○		1
2 学 期	Genius Logic and ExpressionⅢ Unit 5 What Abilities Will Be Needed in a Society with Highly Advanced AI?	・AI の可能性と注意点	○	○	○	○	○	・AI 時代に求められる能力や AI の有効活用について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参照しながら、論理の展開や構成を工夫して話して伝えることができる。	○	○	○	4
	Unit 6 How Can Gender Equality Be Realized?	・ジェンダー平等社会の実現の方法						・ジェンダー平等について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝えることができる。				
	エスト上級英作文 Ch. 9 仮定・条件の表現 Ch. 10 「～とは…だ/～は…のことだ」 Ch. 11 逆接・譲歩の表現 Ch. 12 様々な日本語で評される原因・理由・程度・結果の表現	・目的、糸 ・原因、理由、結果 ・条件、家庭 ・比較、比例 ・譲歩、対立 ・願望、依頼、勧誘 ・時、頻度 ・数量、時間、程度 ・当然、助言、命令 ・必要、可能、能力 ・強調、疑問、推測 ・提案、要求	○	○	○	○	○	・2 年次に覚えた基本例文を使いながら、英訳することができる。 ・定型表現等を用いて、正確に和文を英訳することができる。	○	○	○	10
	中間考査			○			○		○	○		1
	Genius Logic and ExpressionⅢ Unit 7 Should All Public Spaces Have Security Cameras?	・防犯カメラのメリット・デメリット	○	○	○	○	○	・公共の場における防犯カメラ設置の是非について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展	○	○	○	4

	Unit 8 Will Human Life Expectancy Increase?	・高齢化社会を生きる方法や対策						開や構成を工夫して話し合って伝えることができる。 ・将来、平均寿命が延びるかどうかについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝えることができる。				
	エスト上級英作文 Ch. 13 「～（ら）れる」の表現 能動態、受動態の使い分け Ch. 14 語句の省略、言い換え、補充(1) Ch. 15 語句の省略、言い換え、補充(2) 期末考査	・「（ら）れる」の受身以外の表現 ・不要部分の省略 ・必要部分の変換と補充 ・内容を明確にするための言い換えや補充	○	○	○	○	○	・2年次に覚えた基本例文を使いながら、英訳することができる。 ・定型表現等を用いて、正確に和文を英訳することができる。	○	○	○	8
				○			○		○	○		1
3 学 期	総合演習	和文英訳・自由英作文	○	○	○	○	○	・2学期までに覚えた基本例文や定型表現を用いて、正確に和文を英訳することができる。 ・与えられた論題に対して、論理的な文章を書くことができる。	○	○	○	16
												合計 70

評価の方法：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
定期考査を中心に、発表、提出物、小テスト等	定期考査を中心に、発表、提出物、小テスト等	授業への取り組み、発表への取り組み、提出物、小テスト等